

令和5年第2回西之表市議会定例会

所信表明並びに提案理由説明



おはようございます。

本日、ここに令和5年第2回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には御出席くださいます、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症が確認されて3年余り、医療機関や高齢者施設等の現場で献身的に従事いただいた医療従事者や介護職員等の皆さま、また新型コロナウイルス感染症の対策にあたっていただきました関係者の皆様の多大なご協力により、幾度にわたる感染拡大時を乗り越えることができましたこと改めて感謝申し上げます。

国は、5月8日より新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行いたしました。移行後、マスクの着用をはじめとする基本的な感染対策は、個人や事業者の判断とすることや感染症の把握方法、診療等の医療費にかかる公費負担の見直し、陽性者の就業制限の廃止など大きな方針変更となり、3年を超える新型コロナウイルスとの闘いからようやく新たな日常への一歩となったところであります。

この方針変更により市内の社会経済活動等がさらに活発となり、まちはこれまでの賑わいを取り戻し市民生活も安定するものと大い

に期待しているところであります。

なお、新型コロナワクチンの接種については、今年度も引き続き自己負担なく実施いたします。すでに6月5日から高齢者等リスクの高い方々を対象に接種を開始しているところです。今後とも国からの情報提供に注視しながら必要な準備をしっかりと整えながら進めてまいりたいと考えています。

先般、地元選出国會議員や各省庁を訪問し本市の懸案事項について要請活動を行ってきました。「航路・航空路運賃低廉化事業の支援拡充」、「看護師確保」、「労働力不足に対する人材確保」、「農水産業の振興」の4点について要請いたしました。今後も本市が抱える課題等の実情を訴えつつ、国に対策を講じていただくよう求めてまいります。また、この機会を利用してポルトガル大使館も訪問しまして、鉄砲伝来480周年を迎え、今後の交流推進についての意見交換をしたところであります。

市の行事についてであります。去る5月4日に第17回種子島カップを実施しました。9艇が美浜沖をスタートし、西海岸を往復

するコースで実施しました。当日は、ビーチコーミング・巡視船乗船など多くの市民参加やレース観戦者が見られました。引き続き、交流人口の増加を図るため取り組んで参ります。

次に5月14日日曜日には、第20回生涯スポーツ大会が行われました。ソフトボールをあっぱ〜らんどで、グラウンドゴルフを市営グラウンドで、ソフトバレーボールを市民体育館で開催いたしました。計525名の市民の皆さんにご参加いただき、各競技を通して、健康の保持と増進並びに親睦と融和が図られたのではないかと思います。

(ソフトボール：18チーム・243名、グラウンドゴルフ：46チーム・230名、ソフトバレーボール7チーム・52名)

また、本年は、昭和47年の太陽国体以来、51年振りに鹿児島県で国体が開催されます。本市においては、6月25日にデモンストレーションスポーツとしてソフトバレーボールが、8月24日には、市役所をスタートし、市街地を通り、市民体育館をゴールとする炬火リレーが開催されます。市民の皆様のご参加、ご声援をよろしく願います。

次に馬毛島問題についてです。

5月12日、防衛省との協議の場におきまして、「自衛隊施設の整備に係る地元の声を受けた防衛省の対応について」説明を受けました。ごみ処理や安全面など防衛省側の対応策が示されましたが、対応へのスピード感や具現性について万全とは言えないと捉えています。さらには、今後の人流・物流の急激な増加に伴う市民生活への影響について危惧しております。住民の不安の解決、あるいは期待の実現に向け、国に対し、迅速かつ有効な対応を求めてまいります。

次に産業の分野、農林水産業の状況について報告をいたします。

農業分野の令和4年度農業生産概況につきまして、概算値ではありますが粗生産額が54億2,700万円となり、昨年度と比較して約3億800万円の減となっております。

減収の大きな要因につきましては、バレイショや畜産の生産額が減少したことによります。

主要品目の生産概況については、基幹作物であるサトウキビが生産量4万4,551トン(+2,803トン)、平均反収6トン638キロ(-146キロ)、生産額9億9,443万円となり対前年度比4,095万円の増収となりました。

青果用さつまいもについては、サツマイモ基腐病の影響による大幅な面積の減少があったものの、被害軽減による反収の向上と取引単価の上昇により 5 億 1, 7 0 0 万円となり、対前年度比約 2 億 9, 0 0 0 万円の増収となりました。

(R 3 : 213ha 1, 417 t 2 億 2, 680 万円)

(R 4 : 138ha 1, 591 t 5 億 1, 719 万円)

サツマイモ基腐病対策につきましては、令和 4 年度からサツマイモ基腐病対策班を設置し、引き続き、関係機関と連携して圃場の巡回、農家への情報提供等に取り組んでいます。

また、安納いもにつきましては、地理的表示 (G I) 保護制度に登録された「種子島安納いも」をブランド推進本部と連携し、さらなるブランド力の向上に努めてまいります。

園芸品目につきましては、主要作物であるバレイショの面積が増加したものの、昨年秋の高温や雨、また今年 1 月下旬の大寒波の影響等により、昨年度と比較して、3 億 5, 1 0 0 万円減の 4 億 3, 6 0 0 万円となる見込みであります。

畜産は、20億5,100万円で、2億9,500万円の減となりました。

肉用牛については、世界情勢の変化やコロナ禍による需要の低迷から子牛価格が大幅に下落したことで、昨年より1億9,700万円減の12億2,100万円となりました。一方、酪農については、生産頭数の減少から生乳生産量が落ち込み、昨年より1億100万円減の8億1,800万円となりました。

鳥獣による農業被害額については、農業者アンケートによると62万4千円となっており、前年度より約63パーセント減少しました。引き続き、被害防止に向け、捕獲活動への支援、ネット・金網柵による防護対策に努めていきます。

林業については、離島活性化交付金を活用し、林産品の島外出荷に係る海上輸送費の支援を実施しました。木材チップ3,017BDT（ビーディートン：絶乾重量）、原木500立米、製材92立米、その他林産品が616箱の出荷実績となりました。

水産業の状況ですが、種子島漁協における令和4年度の水揚げ総額の速報値は、前年度比1億5,300万円増の6億1,700万円となりました。本市の水揚げにおいては、一昨年不漁であったモジャコ漁の回復があり、前年度比1億3,400万円増の3億5,600万円の実績となっております。

今年のモジャコ漁につきましては、3月7日に開始され、4月17日で終了し好調であったと伺っており、大いに期待しているところです。

今後も、漁業者の所得向上を目指し、水産物の安定供給と地域活性化が図られるよう、引き続き支援に取り組んでまいります。

続いて観光振興への取り組みです。

来る8月20日、本市最大のイベントである「種子島鉄砲まつり」を開催いたします。鉄砲まつり前日の8月19日には日泊緑地港公園にて、鉄砲伝来480周年を記念した「全国火縄銃大会」も開催します。

鉄砲まつりについては、コロナ禍により縮小開催が続いていましたが、本年度は、4年ぶりの通常開催を目指しています。久しぶり

となる本市最大のイベントの開催に多くの市民や島外の方々も実施を待ち望んでいることから、盛況を目指すべく、現在、関係団体等と連携し準備を進めているところです。

観光関連業界は、コロナ禍により多大な影響を受けられました。本市においては、事業者の皆様のご意見を伺いながら、種子島観光協会と連携し、観光振興に取り組んで参ります。

次に、ふるさと納税については、令和4年度の実績が2億1,000万円ほどとなり、過去最高であった前年度より260万円ほど増となりました。今後も新たなふるさと納税サイトへの登録による利用者の取り込みや特産品振興、農林水産業振興等の観点もふまえ、返礼品取扱事業者の加入促進や返礼品企画検討など進めてまいります。

それでは、本日提案いたしました議案についてご説明いたします。本定例会に提出いたしました議案等は、西之表市税条例の一部を改正する条例など条例の一部を改正する専決処分報告4件、令和4年度及び令和5年度西之表市一般会計補正予算など専決処分報告6件、令和4年度西之表市一般会計及び地方卸売市場特別会計及び水道事

業会計予算繰越計算書の報告3件、西之表市固定資産評価審査委員会委員の選任など人事案件が2件、西之表市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定など条例議案が3件、西之表市道路線の変更及び廃止など2件、令和5年度西之表市一般会計補正予算など予算議案5件の合計25件であります。

主な議案について御説明いたします。

議案第26号から議案第27号は、それぞれ人事案件で、法令の規定により議会の同意を得ようとするもの、議案第28号から議案第30号は、法令の一部改正に伴う条例の一部を改正しようとするもの、議案第31号は、西之表市道路線の変更、議案第32号は、西之表市道路線の廃止、議案第33号から議案第37号は、令和5年度西之表市一般会計及び特別会計等の補正予算であります。一般会計補正予算の主なものは、「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業」として社会福祉総務費に8,100万円、商工振興費に4,820万4千円、再編交付金の追加事業として農地費に3,240万円、常備消防費に433万9千円、再編交付金事業基金の積立金として財産監理費に6,544万6千円、県補助金等による園

芸産地再生支援事業として農業振興費に4,401万2千円、その他、各費目に4月1日付け人事異動に伴う人件費を計上しております。

この結果、歳入歳出予算の総額に3億7,743万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ130億7,379万2千円とするものであります。なお、農業委員会委員人事案件で後日、議案の追加を予定しております。議員各位の御審議のほどよろしく願います。

以上で私の市政に対する所信表明及び提案理由の説明といたします。ありがとうございました。

令和5年6月16日

西之表市長 八板 俊輔